

1万人会議整理票【質問】

No.	開催日	会場	質問	回答
1	18.1.17	千代田町	知事は流水型ダムを要請しているのに流水型ダムではないのか。	河川整備計画に治水対策としてダムを盛り込むということである。流水型かどうかはダムタイプの問題であり、タイプについては今後の調査検討によって決めることになる。
2	18.1.17	千代田町	遊水地案の検討において示されている優良農地とはどういう意味か。遊水地にすると水没するののか。	圃場整備等によって整備が行われ、重要な農業生産基盤となっているという意味である。遊水地となって営農は可能であるが、越流頻度が増加することにより農業生産への影響が考えられる。遊水地案は、農地だけの問題ではなく、住宅の移転など社会的な影響が大きい。
3	18.1.17	千代田町	城原川ダムの治水計画に関する資料を公開してほしい。	資料は公開しており佐賀県庁でも閲覧できる。城原川流域委員会、城原川首長会議の資料についてもすべてホームページで公開している。
4	18.1.17	千代田町	城原川ダムで水を貯めて佐賀西部に導水するのではないのか。	今回の整備計画では、城原川ダムは治水対策としての位置づけである。不特定用水については必要性を検討し、その結果を持って対処することになる。佐賀平野は山が浅くて平野が広いため、昔から水に悩まされてきた。佐賀平野全体で広域的な水利用を考えていく必要があることは事実。
5	18.1.17	脊振村	水利用懇談会は今までに何回開催されたのか。	行政間による、「水利用検討会」が6回。地区の水利用者の方をお呼びする「水利用懇談会」については昨年1回行い、今月も予定している。
6	18.1.17	脊振村	計画の雨量（昭和28年水害相当）規模は、1/150と言われているが、それは正しいのか。また、その時の最大の時間雨量は何mmか。	荒瀬の上流域では1/150の評価となる。しかし、これを城原川流域単独で評価すると確率は1/100程度。評価の対象や評価期間によって、確率は変わるものであることはお知りおき頂きたい。ちなみに最大の時間雨量は、荒瀬上流域平均で60mm程度である。
7	18.1.22	神埼町	今回は治水対策ダムであって、知事が提案している流水型ダムではないのか。	治水対策としてダムを整備することを盛り込んだものである。流水型かどうかはダムタイプの問題であり、タイプについては今後の調査検討によって決めることになる。

8	18. 1. 22	神埼町	淀川水系流域委員会では、水道用水の確保の必要性が無くなったダムについて、中止することを提言したと聞いているが、詳しいことを説明してほしい。	城原川ダムについては、治水上必要であると判断している。 淀川の情報については詳しく承知していない。
9	18. 1. 22	神埼町	治水対策としてダムのほかに平地部に遊水地も整備することになるのか。	平地に遊水地を整備する計画は無い。ダムと河川改修によって対処する計画である。
10	18. 1. 22	神埼町	流水型ダムは可能と知事に回答されているが、周辺環境調査等を実施したうえで回答されたのか。	これまで一部調査は実施しているが、今後、さらなる環境調査等が必要である。既に脊振村の住民の方々と調査のための協定を締結している。仁比山地区についても調査のための協定を締結し、きちんとした環境調査等を行い、その結果についても公表していく。
11	18. 1. 22	神埼町	ダムの環境調査等にかかる期間はどの程度を見込んでいるのか。	5年度程度の期間を見込んでいる。
12	18. 1. 22	神埼町	城原川ダムを整備することに対して佐賀県の財政は大丈夫なのか。	河川改修であってもダム整備であっても県として負担が生じる。県内において、どのような順序でインフラ整備を進めていくか、財政当局も含めて考えていく必要がある。
13	18. 1. 23	日田市	平成11年に「日田の川づくり計画策定委員会等」によって作成された「三隈川及び庄手川の将来についての提案書」と今回の整備計画との関連はどうなっているのか。	「三隈川及び庄手川の将来についての提案書」と繋がっているものと考えていただければよい。
14	18. 1. 23	日田市	日田の市民団体から、夜明ダムの撤去の要望を出しているが整備計画では考えないのか。	問題点の抽出は行っている。上下流の影響、電力補償を考慮して今後、検討が必要だと言うことは理解している。許可工作物（所有者が九電）であるため、整備計画に「撤去する」とは記載されていない。地域でもっと話し合いが必要である。（河川環境課）
15	18. 1. 23	日田市	大山ダムは流水型ダムで整備できないのか。	福岡の水道開発、筑後川の不特定用水としての利用が目的であるため、普段から水をためておく必要がある。流水型ダムにはできないが、ダムから如何にきれいな水を流すための選択取水施設設置等で検討している。（水機構）

16	18. 1. 23	日田市	庄手川の亀山橋周辺でどのような工事をするか教えて欲しい。	治水対策として亀山公園横に堰をつくり、洪水時、下流に水が行かないようにする。下流側は現在、流れが速く、遊べないので、治水ではなく環境整備としてどう利用するか考えていく。今後地元と話し合う必要がある。(調査課)
17	18. 1. 23	日田市	山国川では工業用水が不足するとの情報も聴いた。水資源確保や玖珠川の治水として、玖珠川でのダムや導水の計画はないのか。	玖珠川の上流は大分県管理であり、国の管理区間ではない。天瀬付近は頻繁に氾濫するが治水対策として30年で上流にダムを整備するのは難しい。当面、30年で28年災害の7割の流量を流せることを目標に整備していく。その他の対策としては災害情報の提供等ソフト面でカバーしていきたいと考えている。(調査課) 利水については、水道用水、工業用水、農業用水の開発計画に関して水資源開発基本計画(H17.4作成)を作成しているが、その中では、大山ダムと小石原ダムしか位置付けておらず、福岡県内(福岡都市圏と福岡県南地区)で利用することとなっているので大分側に水がいくことはない。また、大分県から新規利水の要望も特に無い。(開発調査課)
18	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	水質の改善に関して、どのようにしたらきれいになるのか。	上流地区の水質が大きな問題になっているのは理解している。水質はだんだん良くなっている。流域全体の意識向上に取り組みたい。
19	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	昔、ヨシは川の水を浄化する働きがあるから切ってはいけないと聞いた。そのせいか今はヨシのせいで川に近づきにくくなったので除去してほしい。	地域全体で取り組む努力が必要であると考えている。
20	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	水の量を1.5m ³ /sから4.5m ³ /sにして、鮎のよみがえる川にしてくれとお願いしたが、鮎の遡上時期にダムの底の水(汚い水)を流したから逆に鮎が減った。大山ダムができて同じようなことになるのではないか。	選択取水設備や曝気装置の効果により改善することを原案にも書いてます。 鮎のためにそれらの設備を使い、水温15℃のきれいな水を選んで放流する計画もあります。
21	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	川を昔の姿に戻すと言って護岸などをつくったが、壊れている箇所があったりして危なくて子供が遊べないし、親も遊ばせたくない状態にずっとある。壊れている箇所はどうするのですか？	川から人を遠ざけてしまったという反省のもとに、住民のみなさんが川に親しみを持てるように努力したい。また、壊れている箇所(赤石川と本線の合流点の高水敷き)は、災害復旧申請をしたら予算がおりたので復元します。

22	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	清和橋付近の河川整備をしてもらったが、梅雨時期のたびに土が崩れているし、右岸にある広場にはその土が流れてきている。川に下る道にはパイプがあって入れないし、ダムからの水で川は汚くなる。これらの問題を改善する計画はないのか。	その土は非自然的に目立っている根固めブロックを隠すための化粧のようなものです。こちらが造ったものが壊れることがあるなら維持管理はしていきますし、整備計画の原案にも書いてあります。
23	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	河川を整備をしても洪水のたびに壊れるし、それを直すたびに川の状態が益々悪くなる。人工的な物は壊れないようにきちんと直すのか、そのままにしておくのか。	川の中はもう扱わない。前回溜まった土砂をとったのも、別の工事に必要だった我々側と、その地点の使い勝手の向上を願っていたみなさんとの意見が一致した結果行った事です。
24	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	洪水時に松原ダムは通常300-500t放水するところを昨年は700-800tぐらい出していたが、試験的な放流なのか？そのせいで一部の石垣が掘れてしまっている。	試験的な放流ではないです。流入700tまではコントロールできるのでそのまま放流しているが、流入が700tを超えた場合は洪水調節を始めます。
25	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	河道の維持管理の計画はあるのか。	河道の維持管理は整備計画に謳われているが具体的な場所は書かれていない。
26	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	洪水時に流すダムの水がくさかったり、青い泥と一緒に流れてきて田んぼの水口に溜まったりするが、体積を防ぐためにわざと放流しているのではないのか。	洪水時には固定されたコンジットゲートというところから流すので、わざときたない水を流すような選択取水はできません。くさい水というのはダムの底、酸素が不足しているところにある水が腐っている状態です。そこに酸素を底から送り、水を循環させる機械を設置し改善を図っています。
27	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	夜明ダムや筑後大堰に魚道を設置できないか。	整備計画にもやらないとは書いてないが、夜明ダムは九州電力のダムなので設置の祭に話し合いが必要になってくる。筑後大堰には魚道は設置されていて鮎の遡上も確認できています。
28	18. 1. 24	日田市 (大山・天瀬)	樹林帯の整理の際なのか、山間部を削っている為、松原ダムに黒土が流れ込んでいる。それが水と混ざり下流に流れ込んで水質が悪い。どうするのか。	流れ込む土砂を軽減するために貯砂ダムをつくり、対応している。引き続き改善に取り組んでいきます。

29	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	樹林帯整備とは、道路から下を整備するのか？今から樹林帯整備を進めていくのか？	平成12年から樹林帯整備は河川法で位置づけられており、法面崩壊による水質汚濁と景観保全のため事業が進められている。平成20年完成を目指している。
30	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	水源地域ビジョンの支援とは、どのような支援を考えているのか？	水源地域ビジョンは地域の活性化を行うものである。地域の代表者に集まって貰い、委員会を作り、その下部組織として実践センターという組織を作っている。地域の方々が地域活性化に向けて何が出来るか話し合いを行って頂いた結果で、国の支援を考えていく。
31	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	大山と中津江間にゴミが多く捨てられていた。地域の方々に年々数回、ゴミを撤去し草刈りをして、きれいにしている。そうすると年々ゴミの量も減っている。やはり現在、ゴミが多く捨てている所もきれいにすれば、ゴミをすてなくなるのではないか。	—
32	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	河川整備計画は、筑後川全体の整備計画か？ 原案パンフレットを見るとダム周辺だけの計画というイメージがある。また、ダム周辺よりもさらに上流域流入河川の森林崩壊が深刻であり、森林崩壊における整備計画はないか？	整備計画に関しては、筑後川水系全体です。原案のp125に流入河川の維持管理について記載している。河川整備計画の範囲としては直轄としている。このため流入河川の維持管理するということも原案に入れている。 ダム周辺は貯砂ダムを作ってダム湖への土砂流入を防止している。ダム上流に関しては、管轄である県など関係機関との連携を図っていく。
33	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	河川整備計画の具体的な事業計画は？	今のところ、平成20年までに樹林帯計画を行う以外はない。環境整備に関しては、地域の方々が必要なものについて声が上がれば予算がつく可能性はあるが、具体的な事業計画はない。
34	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	ダムの水量は、夏場は少なく、冬場多いのか？	下笠ダムは、梅雨期の6/11～7/20の時期にダムを空っぽにします。それは、その時期にダム上流の雨を貯めるために空にしている。梅雨期、台風期だけはダムに制限水位がありこの水位を超える事はできない。その他の時期は、必要に応じて調整している。
35	18. 1. 24	日田市 (中津江・上津江)	水源地域ビジョン支援協議会会議を受けて、野田振興会の分科会で、野田地区の活性化のために地域で何ができて、国に何を支援して貰うのか、ダムのメリット、デメリットやダム建設前後の魚類の変化など議論している。野田地区以外の地区でも水源地域ビジョンの話をしているのか？	まだ水源地域ビジョンを話し合っているのは、野田地区だけである。大山は婦人会がダムの事を後世に伝えるために、ダムの勉強会を行っている。

36	18. 1. 25	小国 (杖立)	第1次1万人会議の意見集約（パンフ）に、杖立川の水が濁っているという表記があるが、どの時期の水のことを言っているのか。	この地区で出た意見ではない。上流域の開発等により水質が悪くなったということを行っているのだと思う。今後、水質改善に向けて地域住民と連携を図り対策を行っていききたい。
37	18. 1. 25	小国 (杖立)	松原ダムに堆積した土砂により、ダムの治水能力が低下しているのではないのか。	ダムの堆砂容量は100年で計画している。この容量を超えない限りダムの治水能力が低下することはない。建設後40年経った現在、計画の50%の土砂が堆積している。土砂の堆積が進み治水容量に影響を及ぼす場合は浚渫等の対策が必要である。
38	18. 1. 25	小国 (杖立)	松原ダム建設後、杖立川への土砂堆積が進んでいる。28年災と同レベルの水害が起こった場合、大きな災害に繋がるのではないかと心配である。	ダム本体の土砂管理もしていく必要があるが、流入する支川の土砂管理も必要である。この対応として、整備計画原案に流入支川の土砂を軽減することを行う旨、記載している。
39	18. 1. 25	小国 (杖立)	松原ダムへの流入支川の土砂管理については、県管理区間もやっていくのか。	国の管理区間だけ浚渫しても上流から土砂が流れてくれば効果が少ないため、県と連携して対策を行っていく。
40	18. 1. 25	小国 (杖立)	県区間から流入した汚濁水の対策についてはどのように考えているのか。	関係行政で「水質汚濁連絡協議会」を設立しており、連携を図りながら対策していきたい。水質対策については、行政だけでは限界があるので地域の皆さんの協力が必要である。
41	18. 1. 25	小国 (杖立)	杖立地区の治水対策について、どのように考えているか。	ハード対策として堆積土砂の撤去、河岸の補修を行っていく。また、ソフト対策として監視カメラ、光ファイバーの整備等の監視体制を強化するとともに、住民の方が迅速に避難できるような情報提供を行っていく。また、映像と水データ等を用い分かりやすい情報提供に努めていきたい。
42	18. 1. 25	小国 (杖立)	防災道路は町管理であるが昨年も被災している。国に移管し安全な道路に整備することは出来ないか。	町との協議が必要である。
43	18. 1. 25	小国 (杖立)	出水時に玖珠川との関係を見ながら松原ダムの流量調整を行っているのか。	昔は分からないが近年は行っていない。ただし、時間差をつくって流した方が治水効果が増す場合もある。

44	18. 1. 25	小国 (杖立)	松原ダム周辺には活断層があると聞いているが、地震時の対応はどのようなになっているのか。	震度4以上になれば、直ちにダム本体、機器関係の点検を行う規則になっている。
45	18. 1. 25	小国 (杖立)	下笠ダムが決壊した場合、松原ダム周辺の被災による影響が大きくなるが、どのような対応を考えているか。	的確な情報を迅速に伝えるよう努める。
46	18. 1. 25	小国 (杖立)	ブラックバスが増えてアユを食べてしまう。何かいい対策があれば教えて欲しい。	
47	18. 1. 25	小国 (杖立)	福岡ではまだ水不足が続いているようであるが、杖立地区上流にダム計画があるのか。	今のところ計画は無い。
48	18. 1. 25	大川市	地球温暖化によって海面が上昇しているのかどうか調査が行われているか。	潮位が高くなってきているとの声も聞く。現時点で正確な検討を行っていないが、有明海の潮位観測は継続して実施している。引き続き調査統計を実施し、治水面や環境面で障害が発生しないか検討していく。
49	18. 1. 25	大川市	福岡都市圏へ水道用水と、流域の農業用水などの水利用はどうなっているのか。	筑後大堰からの農業用水の取水量は最大で毎秒約28トン、一方、福岡都市圏への水道用水は毎秒約2トンであり、取水量は農業用水が圧倒的に多い。また、福岡都市圏への水道用水の取水は、河川流量が少なくなった場合、ダムの貯留水を流して使用するなどして河川流量を確保している。水不足になった時には、利水者間が相互協力のもとに譲り合わなければ、筑後川の利水は成立しない。
50	18. 1. 25	大川市	筑後川は、何ミリ程度の降雨まで耐えられるのか。	昭和28年洪水規模が最終計画であり、夜明峡谷上流に約500ミリ/48時間を想定している。この降雨で想定される流量が毎秒10,000トンであるが、今回の整備計画では段階目標として7割程度の流量を目標規模としている。高潮については、最終的には伊勢湾台風級を想定しているが、整備計画では段階目標として昭和60年台風級を目標規模としている。

51	18. 1. 25	柳川市	昔、筑後川では砂を採っていた。また、筑後大堰ができたために砂が下まで流れてこなくなり、これらの原因でシジミやアサリが影響を受けているのではないか。	筑後大堰のゲートは巻き上げ式であり、下から水が流れるようにしてあるので、堰が上流からの砂を止めていることはない。
52	18. 1. 25	柳川市	堤防の草を除去するために除草剤を散布することは問題があるのか。	環境を考えると除草剤は良くない。堤防は草で覆われていることで、浸食から保護されている。また、除草剤は環境上も問題があることから、散布しないようにしていただきたい。
53	18. 1. 25	柳川市	筑後川汽水環境保全・再生プランでは具体的に何をするのか。	現時点で具体的な内容は決まっていない。今後、いろいろな方のご意見を聴きながら保全・再生に向けたプランを作っていこうと考えている。
54	18. 1. 26	小国町 (室原)	この集落にも公園のようなものができるのか？	国が勝手にハード整備をしても駄目である。地域の皆さんでまずは考え、テーマを出し地域の活性化になるということであれば、環境整備を行うことも可能である。今「しもうけ館」「まつばら館」が開館しており地域の方々に利用して貰っている。この施設が地域活性化の資源になれば良いと思っている。今、ビジョンの組織づくりを行っている。地域活性化の議論がその中でやっていければ良いと思う。
55	18. 1. 26	小国町 (室原)	「上流の現状や課題」と「活性化」とはどのような事を国は考えているのか？下流の人達は川に期待するものがあり、川を中心としたまちづくりができる。しかし上流は川の被害にあってきたという思いが強い。下流の人達が上流のありがたさを感じてもらい、何かメリットが上流にもあれば良いが、国は上流域の活性化とは何を期待しているのか？明日を生きるだけで苦勞している住民に何を求めているのか？	まずは皆さんと一緒に組織づくりを進め、地域で意見が出し合うことで地域活性化の進め方が見えてくると思う。
56	18. 1. 26	小国町 (室原)	ダムができて、川が死んでしまった。昔のような川を取り戻すといっても、ダムができた時代と今では大きく違う、昔と環境は大きく変化した。そのような中で地域の活性化だということはピンとこない。	組織づくりができれば、今後、ビジョンの中で具体の話しをして行っていきたい。国、県、市、地域住民がビジョン支援協議会に入っているので、地域の皆さんの意見を聞いて計画がスムーズに行くよう調整していきたい。

57	18. 1. 26	小国町 (室原)	<p>ダムができて30～40年経っても地滑りが止まらない。今まで地滑り対策にどのくらいの費用を投資してきたのか？たぶん巨額な費用を投資してきているはずである。それなのに何故地滑りは止まらないのか？地滑りする原因を教えてください。地滑りは自然災害というが、ダムが放流するたびに地滑りが起きている。ダムと地滑りには関係があるのではないか。整備計画だ、ビジョンだと騒いでも、それは受益者である中流・下流の立場で考えた計画ではないか？室原の現状を下・中流の人にも見て欲しい。立派なことをいうのではなく、切迫している上流の暮らしを見て欲しい。</p>	<p>(地滑り費用に関しては町が調査すると回答)</p> <p>地滑りについては、ダム貯水池の法面が崩壊しないよう随時調査・対策を行っていく。現在の主な対策は県が実施しているため、県などとも連携を図りながら進めていきたい。</p> <p>筑後川全体の計画である。水源地域ビジョンには県や町など関係機関も入っているのので、協議をしながら決めていきたい。原案は今後色々なことができるよう大まかな意見でまとめている。</p>
58	18. 1. 26	小国町 (室原)	<p>環境整備やビジョンなど具体的なアクションプランはいつどのようにして行うのか？詳しく教えてください。</p>	<p>細かい話をするのは、河川整備計画が決まった後行う。今後は定期的に対話をしながら進めていきたい。</p>
59	18. 1. 26	小国町 (室原)	<p>河川整備計画が決まってこの計画が全て終わるのは20年も30年かかるのか？具体的な計画については、ちゃんと地元の意見を聴きながらやるのか？</p>	<p>今後、みなさんとお話ししながら具体的な計画を決めていく。長いスパンにはなるが、進めていく上で時代や要求にそぐわないものは随時見直しを行う。</p>
60	18. 1. 26	小国町 (室原)	<p>ダムの耐久年数は80年とは本当か？ダムに土砂で埋まってしまうのは、80年か？</p>	<p>ダムは100年の計画で考えている。ダムには貯める水位が決まっている。その水量が溜まらなければ、ダムに溜まった土砂は浚渫したりして維持管理する。</p>
61	18. 1. 26	小国町 (室原)	<p>樹林帯の進捗状況は？</p>	<p>測量が今年3月いっぱいまで終わり、4月以降補償額などの積算に入る。その後、交渉を含めた個人対応に入る。測量が終わった段階で地域住民への結果報告を行う。</p>
62	18. 1. 26	小国町 (室原)	<p>提供した土地は国の管理となり、勝手に入れなくなるのではないか？</p>	<p>特別に立ち入り禁止をすることは無い。</p>

63	18. 1. 26	久留米市	将来の人口減少を考えると、新たな水道水の確保は必要ないと考えられる。財政的に余裕のない時代になぜ、小石原川ダムに福岡県南水道企業団は水を求める必要があるのか。	水道用水として必要な量については、水道企業団の方でダムを水源とする水道整備計画を策定し、必要量が決定される。 それを受け事業者である水資源機構は計画を立て、事業を進めている。ダム計画については、県に対し、都市用水の必要量を確認し、その回答を得て事業を計画している。詳細については、県への確認が必要。
64			これからの時代は、ダムの整備ではなく、遊水地等の確保による治水を考えるべきではないか。	治水対策はそれぞれの河川特性や社会特性に応じて決めている。 筑後川でも、減災対策として輪中堤や控堤等を保全する計画としている箇所も存在する。
65	18. 1. 26	久留米市	各論については、今後30年の取り組みの中で住民意見を聞きながら進めていけばよい。もっと詳しい整備計画の中身について知りたいし議論をしたい。	整備計画本文の原案については、ホームページでも公開している。 さらに詳しいことについては、お問い合わせいただきたい。
66	18. 1. 26	久留米市	堤防上の兼用道路の整備計画について知りたい。	堤防は河川管理者の所管であるが、道路整備の計画については道路管理者の所管となり、具体には県や市町村が計画を作ることになる。筑後川の中流域においては、各市町村が協議会を設置して、堤防上の道路活用について議論が交わされている。
67	18. 1. 26	久留米市	宮の陣橋が交通渋滞する。合川大橋と宮の陣橋の間に新橋の架橋計画があるとの噂を聞いたがどうなっているのか。	橋梁や道路の整備は、道路管理者の所管となるので詳細はわからない。
68	18. 1. 26	久留米市	川しるべは、どこにどういう計画で整備していくのか。	具体の計画や活用方法等については、地域と一緒に議論を進めていく必要がある。 整備にあたっては、河川管理者だけでなく、市町村や地域住民の方々との連携が必要となる。
69	18. 1. 26	久留米市	国道3号線下の通路を道路として利用できないのか。車道ではなく歩道や自転車道としてでも良いので利用できないか。	国道3号下の通路は、国道3号の交通量が多いため、緊急用の河川管理用通路として確保されているものである。 市道等として認可されていないため、道路として利用はされていない。幅員幅、交差点形状、久留米高専生の通学路の安全確保などの観点からも市道認可は難しいと聞いている。 自動車の通行は難しいが、歩行者や自転車の通行については、自由使用として利用することは可能である。

70	18.1.26	久留米市(耳納)	整備計画はこれから30年で整備する計画ということであるが、予算はどの程度考えているのか。	予算については毎年変動するため決まっていないが、現在の筑後川における河川事業予算を考えると、実施可能な整備メニューであると考えている。また、整備計画は今後30年間ずっと固定されるわけではなく社会情勢の変化等によって適宜見直すこととなる。
71	18.1.26	久留米市(耳納)	リバースクールやリバーガイドは国土交通省が主体的に実施しているのか。	国土交通省が主体というより、地元の川づくりに熱心な方々や市町村などに主導して頂き、それを国が支援するような方法で実施している。
72	18.1.26	久留米市(耳納)	国が河川改修をする場合、予算として漁協への補償費が入っていると聞いたが本当か。	漁業権がある区間で、事業による影響を与えることが明らかな場合、補償を行うことはある。
73	18.1.26	久留米市(耳納)	平成13年に県区間の整備計画が策定されているが、国の計画と県の計画は整合が図られているのか。	県の整備計画とは整合を図っている。
74	18.1.26	久留米市(耳納)	昭和63年に策定された河川環境管理基本計画で鎮西湖の保全やカヤネズミの保全等が定められたが、その取り扱いはどうなっているのか。	今回の整備計画(原案)は、規定の環境管理基本計画の思想、内容をふまえ、その後の状況変化も考慮した上で立案している。
75	18.1.26	久留米市(耳納)	控堤の堤防を道路として利用しているが、道路の延伸についても実施してもらえるのか。	控堤の保全というのは、治水対策としてであり、道路としての利用については道路管理者がやるべきことである。直接的な協力はできないが、道路管理者等との協議を行うことはできる。
76	18.1.27	久留米市(城島・三瀧)	浮島の堤防を高くする計画になっているが、いつ頃を予定しているのか。	30年の計画であり、優先順位の高い順に整備していくため、現時点で事業着手が具体的にいつとは言えない。
77	18.1.27	久留米市(城島・三瀧)	浮島地区の堤防天端の幅が狭く車の通行が危険である。佐賀県側は整備が進んでいるのに福岡県側は30年前と比べ変わっていない。何故、整備しないのか。	堤防道路については道路管理者の管轄であり、河川管理者として道路の整備のため堤防天端を広げることにはできないが、佐賀県、福岡県とともに検討を進めたい。道路に関する要望は地域の関係機関にあげてほしい。

78	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	青木島付近の高潮対策について、地球温暖化による有明海の海面上昇を考慮した対策を考えているのか。	地球温暖化による水面上昇については十分解明されていないため、現整備計画では考慮していない。今後必要に応じ対策していきたい。地球温暖化による影響の前に、上流からの洪水や高潮対策として必要な高さ確保をまず急いで行いたい。
79	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	草が伸びる前に除草を行って欲しい。自分たちでもやっているが限界がある。何とかならないか。	除草は年2回実施するようにしている。堤防天端の草刈については道路管理者がやることになっている。住民から、道路管理者と河川管理者の草刈時期が違うので調整を図るべきという意見がでていたので、調整していきたい。草刈は業者に委託していたが一部地域で市町村と市民団体との契約により実施するという取り組みも始まっている。
80	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	堤防を通過する車が多いため、歩いて川に近づきたいと思っても危険が多い。サイクリングロード等の整備ができないか。	サイクリングロードについては、県が整備したものを国が許可し、市民が利用している。利活用の要望については自治体にあげてほしい。
81	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	堆積したガタ土は将来的にどのようにするのか。	毎日の朝夕作用によってガタ土は堆積するものであり、除去は難しいのが現状。
82	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	宇田貫川と山ノ井川は大潮の時、泥水が流れている。大潮時に筑後大堰の水門を開ければ下流のよいと思うが、そのような対応はできないのか。	洪水時は筑後大堰の水門を全開するが、通常の大潮時には、利水のために一定水位を確保しているため水門を開くことはできない。また、筑後大堰の貯留量は河川流量に対してわずかな量であるから、貯めている水を流したとしても直ぐに空になってしまう。
83	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	「100万人の川守りさんプロジェクト」は、どのような支援制度なのか。	「流域住民皆で川を見守って行きたい」との考えを示したものであるが、現在のより具体的な取り組みとしては、アダプト制度があり、これは美化活動団体と行政が協定を結び、清掃道具の貸し出し、収集ゴミの処理、団体の活動PR等を行政で支援する制度である。
84	18.1.27	久留米市(城島・三瀬)	コンクリートダムに歪み計がついているが、どのような役割をもっているのか。	「プラムライン」のことだと思うが、これは貯水位等によるあり、国内でダムの挙動を監視するものであり、その量はわずかでダムの安全性が問題になったことはない。ダム堤体の安全性については水漏れの有無等でもチェックしている。

85	18. 1. 30	久留米市(北野)	川をパトロールしている時、対岸を双眼鏡で監視しているが、意味がないのではないか。	週に2回ほどパトロールしている。川が大きいことから、効率よく巡視を行うために、対岸を含めて監視している。
86	18. 1. 30	久留米市(北野)	宮ノ陣に瓦のくずが捨ててあるが許可をとって捨てているのか。	洪水で坂路に穴が開いたため、グランドゴルフで利用されている住民の方たちが許可を取り、瓦を砕いたもので穴を埋めているもの。
87	18. 1. 30	久留米市(北野)	ゴミの問題は筑後川に流入する支川にも目を向けるべき。	ゴミ問題は支川にとっても非常に重要な問題であることは把握している。県と連携をとり改善に努めたい。
88	18. 1. 30	久留米市(北野)	不法投棄を連絡しても、処理に時間がかかるのはなぜか。	まず、持ち主を探す必要があり、時間がかかっているのかもしれない。また筑後川は広範囲なので手が回らないといった状況もある。みなさんと協力して早めの対応を心がけたい。
89	18. 1. 30	久留米市(北野)	夜明ダムは放流時にサイレンを鳴らすが、そのときに水位が何m増えるのか知らせることはできないのか。	夜明ダムは九州電力の発電用のダム。水位の上昇が著しい区間についてはサイレンで周知されているものの、水位が何m上がるかは予想が難しいのでは。
90	18. 1. 30	久留米市(北野)	28年の水害は人災か天災か。	未曾有の大雨が降っており、水害を回避することは不可能であったらと思う。
91	18. 1. 30	久留米市(北野)	夜明ダムは上流に雨が降らず、下流に雨が降って川の水位が上がっているにもかかわらず放流しているのではないか。管理者が違う場合でも連携はしてほしい。	事実関係が不明であるため、お答えできないが、夜明ダムは発電用のダムなので、流れ込んだ水をそのまま流すだけであり、洪水を助長するようなことは無いと考える。
92	18. 1. 30	久留米市(北野)	中流域で堤防が決壊するとしたら何処か。	水を流す能力から考えれば、分水路より上流が厳しいが、堤防の質や水の当たり方によって、水位が上がる前に決壊することもあるので、一概には言えない。

93	18. 1. 30	久留米市(北野)	堤防が決壊する雨量の目安はどのくらいか。	降り方にもよるが、昭和28年の水害のように、数日続いた長雨の後に集中的な豪雨が発生した場合などは危険である。
94	18. 1. 31	久留米市(田主丸)	現在の恵利堰の工事は何の目的で行われているのか。	堰のゲートなどが老朽化していることもあり、床島土地改良区が修繕工事を行っている。
95	18. 1. 31	久留米市(田主丸)	恵利堰の魚道は魚が昇っていないのではないか。(自然石を使っているのはよいが、底版のコンクリートが一律の勾配のため流速が速いのが原因では。底を段々にして流れに強弱をつけるべき。)	恵利堰の魚道は学識経験者からなる魚道委員会で検討を行ったものである。自然石の裏側が静穏域となり、魚が休憩しながら昇る構造にしているが、ご意見は参考にした。
96	18. 1. 31	久留米市(田主丸)	整備計画で予定されている八幡水門の改築では、古川と筑後川の合流点を少しでも下流にしたほうが古川の流れが良くなるのではないか。	合流点の位置を含めた古川の改修方式については、現在、古川の管理者である福岡県と調整をしている。
97	18. 1. 31	久留米市(田主丸)	善導寺川より上流には草が生え子供たちが川に近づけないため、地元で除草作業を引き受けるような相談をしたが、折り合いがつかなかった。どうすればよいのか。	除草作業については試行的に市町村を介して地元と契約し、地元住民が除草を始めた川もある。再度河川管理者に相談してほしい。
98	18. 1. 31	久留米市(田主丸)	朝羽大橋付近に中洲ができているが、水害への影響はないのか。	筑後川全体から見ると、中流域は比較的流下能力が高い。中洲は治水上問題があれば掘削も考えられるが、環境面にも配慮して取り組んでいく必要がある。
99	18. 1. 31	久留米市(田主丸)	久留米市の広報誌に筑後川が利根川と吉野川を合わせて日本の3大河川となっていたが、流域面積などを考えた場合、3大河川といえるのか。	日本を代表する暴れ川として、昔から板東太郎の利根川、四国三郎の吉野川と並び、筑紫次郎と称されているもの。
100	18. 1. 31	甘木市	桂川水門の操作を行っているが、水門開閉の判断が難しく、困っている。河川整備計画(原案)には自動化も検討されるようだが、今後、操作の主体は地元でさせるのか、国土交通省でしていただけるようになるのか。	将来的には自動化を考えているが、現在のところはまだ技術が確立されておらず、国が全ての施設を対応することは難しい。地域住民の負担になっていることは分かっているので、長期的には対応を考えていきたい。(後日、操作規則について、個別に対応する。)

101	18. 1. 31	甘木市	水門の操作は、内水被害の発生も懸念されることから、心理的な負担も大きい。浸水した場合の責任は誰がとることになるのか。	正常に水門操作しているにも係わらず、予想外の流量により浸水被害があった場合、その責任を操作委託者に負わせるようなことはない。
102	18. 1. 31	甘木市	懇談会で挙げた要望が河川整備計画(原案)に反映されていない場合は、今後要望を挙げても取り上げてもらえなくなるのか。	今後は、この河川整備計画(原案)に基づいた事業実施が図られるものの、全く要望を受け付けないというものではない。今、河川整備計画(原案)を見て、不安や疑問に思う事があれば教えて頂きたい。必要と判断されるものについては記載するし、できないものに関しては、その理由を付して回答を行う予定。
103	18. 1. 31	甘木市	今の河床は堆積傾向なのか掘削傾向なのか教えて欲しい。	中流域は、昭和初期に比べ高度成長期の砂利採取等により河床が低下している。現在では原則的に砂利採取を許可しておらず、復元傾向にはある。河川整備計画(原案)においても、今後は上流から下流に土砂が流れるよう、基礎調査などを行う旨、記述している。
104	18. 1. 31	甘木市	床島用水は移設しないのか。	水路の付け替えといった考えもあるが、堤防への強化対策を行い、現在の歴史的施設を残す方法もある。今後は総合的な視点で、関係機関と話し合い、地域のために最善の方策を図りたい。
105	18. 2. 1	久留米市(筑邦)	久留米市としては、水質悪化に対してどう考えているのか。	久留米市では、環境保全室において、水質調査や環境保全について取り組んでいる。家庭排水が直接支川の流入河川に入り込む地域はまだ残っている。保水機能が低下が懸念される市街地では、道路等で雨水が浸透する機能のものを使用するよう心掛けている。
106	18. 2. 1	久留米市(筑邦)	下弓削川を電気伝導度で調査しているが、水質が悪い。浄化施設があるが、まったく機能していないようだ。最近改築され、水門等も新しくできたみたいだが、それでも機能していないのはなぜか。	現在、水門工事まで終わっており、4月から浄化施設を稼動する予定である。電気伝導度で水質をチェックするのは簡単で良い方法だが、その方法では有機物、毒物はチェックできない。
107	18. 2. 1	久留米市(筑邦)	下弓削川の浄化施設は4月から稼動すれば井戸水の危険はなくなるのか。	それはない。水質悪化に対しては、行政だけでは届かないので、地域の方たちから、水質に対しての報告をしてもらうような取り組みを行うなど、協力をしていくことが重要と考えている。
108	18. 2. 1	久留米市(筑邦)	28年から50年が経ち、現在の雨の降り方は以前と違うので、今の計画で大丈夫なのか。	今回の整備計画は、30年かけて整備計画を行うと説明したが、28年級の災害に対しては対応不可能である。今の計画では、戦後2番目の昭和57年規模の大雨が流域全体に降った際に対応できるような計画で整備を進めたい。

109	18.2.1	久留米市(筑邦)	小石原ダムは非常に大きく、予算のかかるダムと聞いた。県南の水不足の為と聞いたが、本当に必要なのか。違った方法はないのか。本当は福岡へ持って行くのではないかと心配している。	水は不足している。筑後川は全国で見ても、水量を助ける力が不足している河川である。川が川らしくあるための水が足りない。県南地域の飲み水ばかりでなく、下流域全体ことを踏まえた計画として認識してもらいたい。
110	18.2.1	うきは市	環境整備について具体的な案があれば教えて欲しい。また公園などを作るには、2車線以上の道路や駐車場が必要。	まだ具体的な計画づくりはこれから。地域住民の方が筑後川をどのようにしたいかという思いが大切である。
111	18.2.1	うきは市	河川区域の範囲を教えて欲しい。河川法上、千年分水路の中の島の位置づけはどのようになっているのか。	一般的に堤防から堤防の間が河川区域であるが、将来的に水を流すことが予定されているところについては堤防の外でも河川区域となる。しかし、千年分水路の中の島のように現在も将来的にも水を流す必要のない区域は、河川区域外となる。
112	18.2.2	大刀洗町	筑後川の長さの143kmとは、どこの地点からどこまでのことか。	熊本県の瀬の本高原から有明海に注ぐまでの間の距離である。筑後川の源流は一カ所ではなく沢山あると思われるが、143kmは本川筋の長さを示す。
113	18.2.2	大刀洗町	河川敷で草を刈って野焼き処分したいが、どのような手続きが必要か。	野焼きは基本的には禁止されているが、河川敷の草については、受け入れ先等が無いためやむを得ず焼却処分している。具体については、片ノ瀬出張所に相談してほしい。なお、消防署への届け出は必須となる。
114	18.2.2	大刀洗町	砂利採取の影響で地下水位が下がったように思う。井戸の補償はしたのか、また補償は出来ないのか。	因果関係が解らない。砂利採取等の補償については詳細には解らない。
115	18.2.2	大刀洗町	大分県の上津江付近から熊本県へ導水管が引かれていると聞いた。どの程度の水が送られているのか。筑後川は他の地域に水を配るほど豊かではない。	津江導水については、まだ導水を開始していない。計画では豊水時のみの導水となる。なお、工事の際に漏水が発生しており、これについては対策を検討中と聞いている。
116	18.2.2	大刀洗町	大刀洗町は水道用水の水利権を持っていないと聞かすが、水利権を許可できるようにしてほしい。	大刀洗町の水道は、三井水道企業団として広域市町村で水道事業を行っている認識している。

117	18.2.2	大刀洗町	佐田川で商工会がホテルの里づくりを進めている。河川管理者も協力・支援でいいか。	具体については、片ノ瀬出張所に相談してほしい。
118	18.2.2	大刀洗町	十数年前に床島の中洲を公園にする構想があったが、現在はどのように考えているのか。	具体には決めていない。地域の皆さんの意向も踏まえて、今後議論していく必要がある。歴史的な空間なのでそれを活かしたほうが良いと考える。
119	18.2.2	朝倉町・杷木町	ダム群連携施設（導水路）ができた場合の地下水への影響は。	沢水や地下水利用、生活用水、農業用水などの様々な水利用があると考えられるので、現在、地形・地質調査や動植物調査を広域的に行っている。水利用に対する影響については、調査結果を見ながら、今後検討していくこととなる。
120	18.2.2	朝倉町・杷木町	ダム群連携事業の必要性について教えて欲しい。	現在のところ、川の水量を確保するための水がめとしては、寺内ダムと冬場の松原・下釜ダムにしかない。夏場は佐田川上流の寺内ダムのみであり、どうしても川の水量が不足してしまう。そのために現在建設が進められている大山ダム、小石原川ダム、ダム群連携施設などにより水量確保を目指すもの。ダム群連携事業については筑後川本川において水量が多いときに、その水を有効的にダムに蓄えるための施設を整備するものである。
121	18.2.2	朝倉町・杷木町	ダムを造ったり、福岡へ導水することで川の水量が減っているのではないか。	ダム等の水資源開発は川に必要な水量を優先して貯留などを行っている。また、小石原川ダムや大山ダムには不特定容量を確保しており、これにより、河川の水量が不足するときの備えとしている。
122	18.2.2	朝倉町・杷木町	子供たちを川で遊ばせるには水質が悪いのではないかと心配になる。希望すれば、定点以外についても調査をして貰えるのか。	大量に直接飲んだりすれば問題があるかもしれないが、特に水質の問題で子どもたちが川で遊べないということはないし、実際に川で遊んでいる子どもたちもたくさんいる。水質を調べたいのであれば、簡易的に調べる方法もあるので、ご相談頂きたい。
123	18.2.2	朝倉町・杷木町	筑後川で魚釣りなどに利用したくても、漁業権があって自由にできない。漁業権はどこの管轄なのか。	県の水産部局が管轄である。

124	18.2.2	朝倉町・杷木町	両筑橋上流の堤防は舗装しており、昨年9月に舗装が終わったと思うが、通行止めになっている。利用できないのか。	ご指摘の箇所については河川パトロールや水防専用にご利用するための河川管理用通路である。事故が発生した場合の責任問題もあるため、自動車などでの通行はやめていただきたい。
125	18.2.3	佐賀市(諸富)	ガタ土が堆積するため、漁港の浚渫を毎年行っている。河川では、土砂に関してどのような調査を実施しているのか。	川底の高さの変化、堆積する土砂の性状、潮汐や洪水時の土砂の移動に関して調査を進めている。河口域の土砂移動のメカニズムについて継続的に調査を進めていく予定。
126	18.2.3	佐賀市(諸富)	火災が発生した場合に消防用の緊急用道路として堤防を使用できないか。現在は、堤防天端の通路に施錠されており使用できない。	可能である。鍵を消防署又は区長さんなどにお預けすることを考えれば良い。諸富出張所にご相談願いたい。
127	18.2.3	佐賀市(諸富)	西寺井地区の新川合流点付近の堤防は将来舗装されるのか。	高潮区間の堤防については、高潮に対する安全性を確保するため将来的には舗装することになる。なお、新川の早津江川合流点付近までは佐賀県の管理である。
128	18.2.3	佐賀市(諸富)	計画の堤防高、堤防幅ほどの程度か。	計画の高潮位は標高5.02m、河口付近の計画堤防高は標高7.5mである。上流にいくほど計画堤防高は低くなる。なお、現況の堤防高は低いところで標高5m前後。整備計画では低いところについて段階的に高さを上げていく。なお、堤防幅は5~7mである。
129	18.2.3	佐賀市(諸富)	城原川の野越しはどうするのか。	野越しの周辺では宅地化も進んでおり、周辺の堤防と同じ高さまで上げる計画である。なお、下流の掘削が終わってからでないとう上下流バランスを欠くため、下流の整備進捗を見ながら対策を行うことになる。
130	18.2.3	佐賀市(諸富)	なぜ城原川の観測所は、日出来橋にあるのか。	出来る限り直線の区間で、なおかつ市街地の上流部付近に観測所を設置している。
131	18.2.3	佐賀市(諸富)	坂路については、すべて下流側に向いているが利便性を考えて上流向きには整備できないのか。	坂路は洪水が遡らないよう安全性を考慮し、上流から下流に向けて整備するのが基本となっている。

132	18.2.3	佐賀市 (諸富)	昇開橋付近では川底から堤防天端までどの程度の高低差があるのか	深いところで15m程度ではないだろうか。
133	18.2.3	佐賀市 (諸富)	蒲田津排水機場はどのような機能なのか。	城原川は勾配があるため自然流入であるが、佐賀江川は佐賀市内まで勾配が無いいため、本川からの逆流防止のため水門を設置している。また、水門閉鎖時の排水を確保するため蒲田津排水機場を設置している。
134	18.2.3	佐賀市 (諸富)	流域外の福岡市などに水が持っていかれるのは残念である。	筑後大堰から農業用水として利用されるのは最大で毎秒約28トン、福岡導水は毎秒約2トン。なお、福岡導水は、筑後川の流量が減ったときは江川・寺内ダムから補給して取水しているなど下流の流量に配慮した運用となっている。
135	18.2.3	佐賀市 (諸富)	松原・下笠ダムから熊本県へ導水すると聞いたが、目的は何か。	筑後川の水は福岡、佐賀、大分、熊本の流域4県で分け合う利水計画となっている。上流の導水は菊池川の竜門ダムに補水するのが目的。しかし、これも筑後川の水が豊富な時のみとなる。
136	18.2.3	佐賀市 (諸富)	城原川の会議に諸富町はなぜ参加していなかったのか。	城原川の氾濫流が及ぶのは佐賀江川までとの考えから、首長会議等については、神埼町、千代田町、脊振村、佐賀市の首長に参加いただいたと聞いている。
137	18.2.3	川副町	筑後川流域委員会が開催されているようだが、今後河川整備計画の策定に関して委員会がどのように係わるのか。今後のスケジュールを教えて欲しい。	2月27日に開催される第6回委員会において、頂いた意見の概要をご報告する予定であり、この委員会をもって整備計画(案)の作成に関する委員会は最後となる。
138	18.2.3	川副町	城原川ダムができることによってどの程度の影響を有明海に及ぼすのか。	ダムなどの大規模事業を行う際は、環境アセスメントを行う必要がある。環境アセスメントでは、水環境、大気環境、地形地質、動植物、生態系、景観など様々な項目を調査し、その影響を予測評価し、結果に応じて回避、低減、代償の措置を行うこととなる。城原川ダムについても具体的な計画が決まれば、環境アセスメントによる影響予測がなされるものと考えている。

139	18.2.3	川副町	筑後川デレーケ導流堤のところの佐賀県側にガタ土が多く付き、福岡県側に付かないのは何故か。	デレーケ導流堤は舟の航路を確保するために造られた港湾施設であり、河川管理者として直接的な対応は出来ない。もともと福岡県側に船が通りやすくするために作られた施設であり、今でもこの機能は生きているものとする。
140	18.2.6	みやき町	今後30年後の山林(流域)の国有林、民有林の割合についてどうなるのか。また誰が管理するのか。	30年後の山林の状態については河川管理者ではわからない。また国有林については林野庁で管理を行っている。
141	18.2.6	みやき町	松原・下笠ダムの弾力的運用試験を行っている。なぜ当初より時期を延長したのか。	平成13年から17年まで、松原・下笠ダムの弾力管理試験を行った。期間中は代掻き時期で農業用水が多く取水され、大堰下流ではエツの産卵時期でもあった。これらのこと等から河川環境改善の目的で実施したものであったが、一定の成果はあったと思う。
142	18.2.6	みやき町	田手川や城原川では川遊びは実施できるのか。	日田の台霧の瀬や巨瀬川の小学校の取組みなど進めている例もある。下流では、川辺り交流会にて、六五郎橋付近で葦原を焼いて再生したり、葦を使った網ものを子供達に教えたりしている。城原川の直鳥橋付近では、地元の千代田町、NPOの協力などのより、リバー・スクールを今年度10回程度開催しており、好評で来年度も実施をする予定である。
143	18.2.8	小都市	現在の堤防は雨量何ミリまで耐えられるのか。	雨の降り方や、堤防の幅などが場所によって違うため、雨量で一概にいうことは難しい。昭和28年水害に備えた堤防の整備等を進めており、現在5割程度の整備は進んでいる。今後、概ね30年で7割程度の整備を目指す。
144	18.2.8	小都市	川沿いに桜並木を整備するための、条件などを教えてほしい。	基本的には川の中に植樹すると洪水の流れの妨げになることから、川の外(堤内地側)に植えて頂くこととなる。その時、治水上必要な堤防の断面(定規断面)の中に樹木の根が入ってこないことが条件。具体的には定規断面の外側に盛土をし、堤防に根が入らないようブロックなどで保護するなどすれば、桜は植ええられる。植栽する場所によって異なるので、管轄の河川管理者に相談されたほうがよい。